

多機能型事業所『京都ほせんオリーブ館ぴーすさいん』

支援プログラム

その子らしく イキイキと活動しながら 持てる力を発揮し 安心できる居場所として

「健康・生活」

- ・生活リズムを整える工夫をご家族と一緒に考え情緒の安定図ります。
- ・自分の身体を意識し、身体の調整力につなげます。
- ・食事・排泄・着替えなど生活に必要な力や生活習慣が身に付くようお子さんの様子に合わせて支援方法を考えます。

「運動・感覚」

- ・色々な運動あそび(リズム、体操、ボールあそび、サーキットなど)を楽しみながら、思うように体を動かしたり調整したりする力、姿勢の取り方やバランス感覚などを育みます。

「認知・行動」

- ・「自信と自己肯定感」を育みます。子どもの「できた！」という体験を大切にします。
- ・物事・状況をどのように感じ取り考えているのか、どうしてその行動を取るのか、認知や行動の特性をまずは受け止めます。

「言語・コミュニケーション」

- ・好きなあそびでのやりとりやほしいものを選ぶことを通して「伝わった」「わかってもらってうれしい」という思いの積み重ねていけるようにします。
- ・子どもに合わせたコミュニケーションの方法で伝える、伝わる経験を増やします。

「人間関係・社会性」

- ・小集団でのあそびを通して「一緒に楽しい」「また遊びたい」と思える経験がたくさん出来るようにします。
- ・人との関わり、集団生活などで必要なスキルをひとつずつ学べるよう支援します。

「家族支援」

- ・保護者の方と子どもの発達状況や特性の理解に向けて相談、援助を行います。
- ・保護者同士の交流の機会を提供します。

「地域支援 ・地域連携」

- ・保護者の方の承諾の上で、必要に応じ電話、書面、訪問等を行い、関係機関と連携を図ります。

「職員の資質の向上」

- ・研修の充実を図り、専門性の向上を図る。

「移行支援」

- ・学校(小学校、中学校、支援学校等)における支援について、保護者会等を通じて情報提供します。

「主な行事等」

- ・保護者の集い ・夏まつり その他グループの中で季節に合わせた活動を取り入れることがあります。